

生活環境学研究科 入学試験の解答

2024 年前期（修士課程・一般選抜）

生活環境学

解答：出題意図に沿った解答であり、論理性・妥当性を備えていれば評価の対象となる。

生活文化学

解答：出題意図に沿った解答であり、論理性・妥当性を備えていれば評価の対象となる。

英語

解答例：

問 1

1-1. 大阪と神戸の間にある阪神間は、宝塚、西宮、芦屋などの都市を含みます。20 世紀初頭、この地域は「阪神館モダニズム」と呼ばれる独特で洗練された文化が栄えました。その時代の名残は、現在でも当時の建築の形で見ることができます。シックな外観のショップやレストランの数々が、おしゃれ感をさらに高めます。阪神間、特に灘五郷や伊丹境界は古くから酒造りが盛んな地域です。宝塚には、江戸時代には小浜地区に酒蔵がありました。地元の町並みには酒造りの面影が残っています。

1-2. テーマを実現するための独自のアプローチ-The People's Living Lab（未来社会の実験場）地球上に住むすべての人々が未来社会をデザインすることは、理想的な社会を実現するために非常に重要です。これにより、個人に当事者意識が生まれ、次のような目標を達成するための行動を起こすよう動機付けられます。

ライフスタイルの改善や、目に見えて社会にポジティブな影響を与える可能性のあるマイクロ投資。

People's Living Lab は、80 億人全員による 2025 年万博への完全参加を実現する創造的な仕組みを提供するユニークなコンセプトです。これにより、専門知識や運営リソースが限られた参加者でも、この前例のない実験に参加できるようになります。

この博覧会は、参加者が解決策を提案する一方通行ではありません。私たちは、相互にソリューションを開発するために、参加者と地球上のすべての人々の間の対話と交流のためのオープンなプラットフォームを提供します。

このコンセプトを最終的に実現するムーブメントとなるよう、オンラインプラットフォームは万博開催の 7 年前にスタートします。このプラットフォームは、2025 年大阪万博の認知度を高めるための多面的なマスコミュニケーションであるとともに、重要なコミュニケーションチャンネルとなります。

1-3. それは大阪、関西だけかもしれません

大阪を中心とする関西地域は、果敢なチャレンジ精神、伝統と現代が融合した豊かな文化、最先端のライフサイエンス技術等が息づく地域です。

この都市は、インスタントラーメン、カラオケ、回転寿司など、多くのユニークなアイデアや発明を生み出し、多くの人々の日常生活に長く大きな恩恵をもたらしてきました。

1,600年以上にわたり、大阪、奈良、京都の都市を含む関西地域は日本の首都の本拠地でした。奈良は、伝説のシルクロードの最東端の停留所と呼ばれ、世界からのアイデアや影響への玄関口として機能しました。驚くべきことに、日本の国宝の半分と5つのユネスコ世界遺産が関西地方にあります。

問2

Kobe was known as a cosmopolitan port at the edge of Japan, serving as a gateway to cultures, commerce, and innovations from around the globe.

2024 年後期 (修士課程・一般選抜)

生活環境学

解答：出題意図に沿った解答であり、論理性・妥当性を備えていれば評価の対象となる。

生活文化学

解答：出題意図に沿った解答であり、論理性・妥当性を備えていれば評価の対象となる。

英語

解答例：

問 1

1-1. 阪神間モダニズムとは、大正時代から昭和初期の時代までを中心に、産業活動が盛んな大阪と、世界との交易が進展する神戸との間である阪神間で、新しく生まれたライフスタイル、生活・産業、芸術文化(文学、音楽、美術、写真、演劇など)とそれに関連する学問、建築、娯楽、ファッション、スポーツ、価値観などの時代の潮流である。阪神間モダニズムは単なる西欧化ではなく、阪神間において脈々と受け継いできた日常生活のいろいろな場面に、西欧様式を取り入れ、独自に育み花開いたものである。

1-2. 阪神間の各地では、人々の暮らしを通じ、質的にも量的にも豊かな伝統芸能や民俗芸能が生まれ、守り継がれてきた。新しい文化と古い文化、自分たちの文化とそれ以外の文化が共存し合う過程で、阪神間は「寛容な風土」を蓄積していった。こうして大正時代を迎え、阪神間モダニズムを開花させたのである。

1-3. 近代衣服発祥の地

近代洋服とは、タキシードやビジネススーツなどの洋装のことです。それらを扱う神戸で初めての洋服店は、神戸開港の翌年、明治2年(1869)イギリス人のカペルが旧居留地(現神戸市役所東遊園地附近)16番館に開業した洋服店とされています。日本人では泉小十郎が創業し、続いて明治5年(1872)西田正太郎が開業しましたが、カペルに弟子入りした日本人最初のテーラーである柴田音吉は、明治16年(1883)に元町で柴田音吉洋服店を開業し、明治天皇のお召し服や伊藤博文などの洋服を仕立てるほどでした。

問 2

For me, fashion is a way to express my individuality. The reason is that it allows me to show my personality and creativity without using words.